

真に支援を必要とする人々のための施策

暮らしを守る
福祉等の向上

特別養護老人ホームの新設及び大規模修繕への助成 (4億7,800万円)

- 必要性・緊急性の高い方が引き続き概ね1年以内に入所できるよう計画的に整備
 - ・ 新たに100人分を整備 (令和8年度までの目標数14,900人分)
- 老朽化が進む施設の維持・長寿命化を図るため、大規模修繕費用の一部を助成

弘済院の認知症医療・介護機能を継承・発展させる新施設の整備 (36億7,300万円)

- 大阪公立大学のもとで先進的な認知症研究に取り組み、専門的な認知症医療・介護を行うため、住吉市民病院跡地において新施設の建設工事等を実施(令和9年度当初開設予定)

長居障がい者スポーツセンター建替整備 (2,100万円)

- 障がい者スポーツ振興の中核的な拠点施設として機能強化を図るため、PFI方式により新たな施設を整備
 - ・ 障がいのある方にとって使いやすい施設とするため、先行して運営予定事業者を選定

障がい者の地下鉄等福祉乗車証のICカード化 (4億7,300万円)

- 利用者の利便性向上等のため、無料乗車証のICカード化に向けたシステム改修を実施(令和9年度から導入予定)

困難な問題を抱える女性支援推進等事業 (3,400万円)

- 女性相談支援員による困難な問題を抱える女性を対象とした自立までの伴走型支援を実施
 - ・ 相談支援、各種社会福祉サービスとの連携・調整、同行支援 など

生活困窮者自立支援事業 (8億600万円)

- 全区役所に設置している相談窓口において、相談者の状況に応じた包括的・継続的な支援を実施



すこやかでこころ豊かに暮らすための施策

暮らしを守る
福祉等の向上

新

介護予防の更なる推進 “すかい”プロジェクト (4億9,400万円)

(うち、一般会計:3億円)

~ すこやかに か いご予防で いい人生 ~

- 介護予防活動への参加を促進するために、「これまで介護予防にあまり関心がなかった人」等に対して、介護予防を「知る」「始めてみる」「楽しむ」「広げる」の4つの柱を基に更なる取組を推進



がん患者支援事業 (5,000万円)

- がん患者のアピアランスケア支援として、ウィッグ・乳房補整具等の購入経費を助成
- 若年がん患者のターミナルケア支援として、在宅介護サービス経費、福祉用具の貸与・購入経費を助成



依存症対策支援事業 (6,800万円)

- 依存症に悩む方へのSNS相談、ギャンブル等依存症に関する啓発イベントや実態調査、IR開業までの「(仮称)大阪依存症センター」設置に向けて、機能の具体化をはじめとした検討等を大阪府と共同で実施

保健所庁舎整備事業 (15億1,100万円)

- 将来の大規模感染症発生時も想定し、一元的な対応を効果的かつ機動的に行うことができる保健所施設として、もとヴィアール大阪を改修

多文化共生社会の実現

暮らしを守る
福祉等の向上

多文化共生施策の推進

(300万円)

- 外国につながる市民が、様々な分野において行政サービスを着実に受け、地域社会の一員として安心して生活するとともに、自分らしく暮らせるよう、様々な取組を実施
 - ・ 多文化共生のまちづくりに向けた地域サポート
 - ・ 知識を深める市民向け講座の実施
 - ・ 多言語や「やさしい日本語」による情報発信 など



多文化共生のまちづくりのイメージ

外国につながる児童生徒の受入れ・共生のための教育推進事業 (3億9,300万円)

- 市内4つの共生支援拠点において、日本語指導及び母語・母文化の保障の取組、多文化共生教育の取組を支援
- 【拡】** ➤ 日本語指導が必要な児童生徒に対して、新たに学習者用端末へAI(機械)翻訳を導入することで、授業や日々の学校生活への支援を充実



外国につながる児童生徒の学習言語定着支援事業

(900万円)【後掲】